

なかつか 亮



くらしがこんなに大変なのに 国保料値上げ「適当」と答申

品川区国保運営協議会が開催 共産党は反対

品川区の国民健康保険運営協議会が2月1日、濱野区長が諮問した国民健康保険条例の改定について「適当と認める」との答申を決めました。

この改定で23年度の国保料があがる対象は、高齢者夫婦や扶養者が多い世帯、障害者がいる世帯など。共産党は「弱い者いじめの値上げは中止を」と反対しました。

高齢者、障害者、 大家族を直撃

改定について一番の問題は、国保料の算出方法の変更です。

区は「住民税方式から旧ただし書き方式に移行」「より公平な制度」と説明しますが、その内容は国保料の算定に係る各種控除を認めず、控除は基礎控除に相当する33万円のみとするもの。国保料の算定で認めない控除とは、配偶者控除、扶養控除、寡婦、障害者控除、医療費、社会保険料の控除、さらには住



宅ローン控除など…。

つまり高齢者夫婦や扶養者が多い世帯、障害者がいる世帯など社会的に弱い立場のある区民に負担増が直撃する内容です。(※激変緩和策あり※控除がない1人世帯は値下げとなるケースもあります)

弱い者いじめ

共産党は「家族や生活に困難な事情がある方ほど、国保料の値上

げとなる、弱い者いじめの値上げはやめるべき」「一般財源の投入増で値上げ中止は可能」と主張しました。

審議が終わり、自民区議、民主区議、公明区議など各委員の賛成多数で、改正を認める答申を決定。反対は共産党のみでした。

改正案は、今後は2月24日から始まる品川区議会に審議の場が移されます。共産党は引き続き、値上げ中止を求め頑張ります。議会傍聴にぜひお出かけを。

なかつか亮

**値上げモデル
は裏面参照**

高齢者夫婦合計 年金収入200万円

—年金所得者（65歳以上）[2人世帯]—

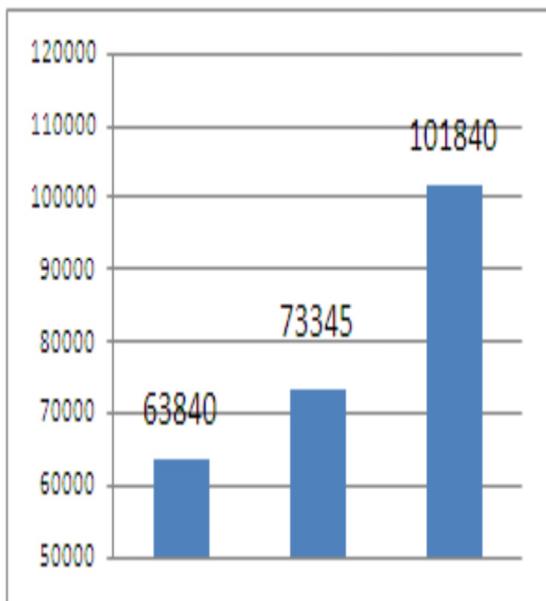
昨年の国保料は…平成22年度 6万3840円

今年の国保料は…平成23年度 7万3345円

最終的に 平成25年度 10万1863円

国保料がなんと1.6倍に 年間3万8023円増

(試算は保険料算定の基礎を同じとする/委員会資料より作成)



大井町駅前の信号機 歩行者「青信号」の 待ち時間が改善されました

大井町駅前の歩行者用信号機が、昨年10月より改善されていた事がわかりました。ちょっと分かりづらいたですが、歩行者にはうれしいニュースです。

写真左下のマクドナルド店から写真右上の大井町駅に向かうには、2回の横断歩道をわたります。しかし歩行者用信号機のタイミングが悪く、一度にわたる事ができない状態が起きていました。歩行者の方から「朝の忙しい時に、待たされるとイライラする」「タイミングを合わせて」との話を聞き、さっそく品川区及び警察と協議。歩行者用の青信号のタイミングを調節し、少しスムーズにわたる事ができるようになりました。チョットした工夫ですが、朝の忙しい時間は特にうれしいです。



写真は大井町駅前

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

2月25日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231